

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)
事業期間を通じた評価

国立大学法人金沢大学
国立大学法人富山大学 学長 殿
国立大学法人福井大学
国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学

国立大学改革強化推進補助金に関する検討会

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の事業期間を通じた評価について、検討会における審査の結果を踏まえ、下記のとおり評価結果をお示しします。
あわせて、本検討会の所見についても別紙のとおりお示しします。

記

A	当初の構想どおりの取組が行われ成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。
---	--

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の
事業期間を通じた評価

国立大学法人 金沢大学
国立大学法人 富山大学
国立大学法人 福井大学
国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学

(検討会の所見)

- 北陸4大学が密接に連携して生じるスケールメリットを活かし、産官金との共創システムを構成することにより、ポストコロナ時代を先導しようとする構想であるが、具体的な課題を設定して「北陸未来創生フォーラム」を作り具体的な活動を開始している。企画としては斬新なもので、設定した KPI も達成しており評価できる。
一方、ポストコロナ時代を標榜するならば、コロナ禍への対応の中で期せずして得られた貴重な経験と新たな可能性、後進性が明らかになったデジタル化、変革を主導するDX、大学生のリテラシーとしての「数理・データサイエンス・AI」などを十分に反映させた斬新な事業にも取り組んでもらいたい。また、構成大学の JAIST による独立大学院の大学院教育、学生募集のための国際展開、留学生確保などの過去の経験もこの時代に新たな意味を持つものと考ええる。
- 一年目の取り組みであるが、短期間で「北陸未来共創フォーラム」を順調に立ち上げることが出来ている。今後、産業界との意見交換を深め、具体的な取り組みとして成果を上げることが期待している。
- スタート間もないプロジェクトではあるが、具体的なビジョンの共有が進んでいる。今後より深いコミュニケーションによる意見交換が行われることを期待している。
- 「北陸未来共創フォーラム」について、幅広い分野で分科会が組織され、地元企業や他大学等の幅広いセクターからの参画を得て、実働体制に入っており、改革構想は順調に進捗していると評価できる。
今後は、各分科会での活動等を通じて得られた知見を活かし、4大学それぞれが経営資源の再配分や重点化を進め、改革の成果を向上させることが期待される。同時に、人口減少問題、とりわけ地元の 18 歳人口の減少という現実に向き合う必要がある。北陸地方のみならず国全体としても相当な人口減少トレンド下にあることからすれば、連携によって新たな役割を見出すことができたとしても、“拡大均衡”で着地することはもはやあり得ないのではないかと。その意味で、今後は教育や研究の質の維持を担保すべく、4大学が連携したスクラップ・アンド・ビルドの取り組みを進めることも必要と考えられる。

次項あり

- 共創フォーラムは立ち上がったばかりであるから、今後の活動と成果を期待したい。
一方で、本取り組みは産学連携の活性化にはつながるであろうが、大学改革につながるためにはさらなる工夫が必要と思われる。金沢大学のみならず、連携するすべての大学が本事業の趣旨を踏まえ経営改革に取り組む必要がある。
- 「北陸未来創生フォーラム」に分科会が設置され、具体的な活動が見えてきていることは前進であると理解するが、この連携とそれに基づく研究開発と人材育成について、それぞれの県庁が本気でどのように関わっていけるのかがこの連携を動かしていく鍵になると考える。
- 4大学が連携することの優位性、また連携することによって初めて可能となる新たな事業についての展望などを具体的に示して取り組みを進めて欲しい。
学生の地元定着に向けては、低学年の学部学生をも対象とした動機付けとなるような教育プログラムを4大学が一体となって実施しては如何か。